

令和7年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 8

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
令和8年 1月 4日		令和8年 1月 5日		・調査研究費 ・ <u>研修費</u>
	氏 名	金 額		受領年月日
1	荒木 明美	50,690円		8年 1月 5日
2				年 月 日
3				年 月 日
4				年 月 日
5				年 月 日
支払金額合計		50,690円		
旅行の目的 「生成AIを活用した予算審議について～基本編～」 「生成AIを活用した予算審議について～実践編～」 受講のため				
用務地 東京都新宿区				
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）		
2/6	函館→東京都大田区	路線バス, 私鉄	660円	
2/7	東京都新宿区	J R		
2/8	東京都大田区→函館	航空賃	21,030円	
/		日 当	9,000円	
/		宿泊費	左下欄のとおり	
/		参加費	20,000円	
/		その他		
・親族宅に宿泊したため宿泊費支出無し ・路線バス、私鉄は京急線往復(羽田—品川)		合 計	50,690円	

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

# セブン-イレブン

函館石川町店

北海道函館市石川町450-1

電話：0138-47-7117 ｼﾞﾝ#2

2026年01月05日(月) 16:09 責161

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

主体的市民の会

アラキ アケミ 様

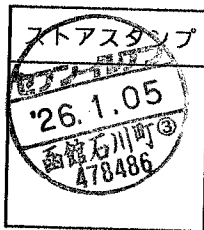
¥21,030-

払込先名 ANA (02/06 ANA5  
54 確認番号 359092176)

お客様用連絡先  
会員専用デスク 0570-029-767(08:  
00-20:00) (R/L:R9L5T)

払込票番号  
7270-14683-9540

2026年01月05日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
  - 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
  - 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。
- ※インボイスの発行はお客様からサービス事業者にお問合せ下さい。

領収証

2026 年 2 月 7 日

主体的市民の会 荒木明美 様

★

¥20,000

但 2026/2/7(土)10時～木村講師【東京】生成AIを活用した予算審議について～基本編～  
2026/2/7(土)13時半～木村講師【東京】生成AIを活用した予算審議について～実践編～

研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

地方議員研究会  
〒221-0042  
神奈川県横浜市神奈川区清見町2-2-2  
TEL 050-1089-9835

# 搭乗証明書

WEB 3afe943ca9-122454-0-1

表示日 2026年04月08日(水)

搭乗者 アラキ アケミ様

搭乗日 2026年02月06日(金)

航空会社 ANA

便名 554

区間 函館 - 東京(羽田)

AIRPORT CODE:HKD-HND

FARE TYPE CODE:RSV28L

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

ANA/全日本空輸株式会社  
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

# 搭乗証明書

WEB 3afe943ca9-122518-0-2

表示日 2026年04月08日(水)

搭乗者 アラキ アケミ様

搭乗日 2026年02月08日(日)

航空会社 ANA

便名 557

区間 東京(羽田) - 函館

AIRPORT CODE:HND-HKD

FARE TYPE CODE:RSV28M

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

ANA/全日本空輸株式会社  
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

出張報告書

令和8年 2月 13日

主体的市民の会 荒木明美 様

出張者氏名 荒木 明美

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	令和8年 2月 6日 ~ 令和8年 2月 8日 (3日間)
2 用務地	⑤ 2月 7日 東京都新宿区 市・町
	⑥ 月 日 市・町
	⑦ 月 日 市・町
	⑧ 月 日 市・町
3 出張概要	地方議員研究会主催研修会 日時：令和8年2月7日(土) 10:00~12:30「生成AIを活用した予算審議 について~基本編~」 13:30~16:00「生成AIを活用した予算審議 について~実践編~」  場所：リファレンス西新宿大京ビル(新宿区西新宿7丁目21-3)
4 所見	別紙。
備考	

## 生成AIを活用した予算審議について～基本編、実践編 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和8年2月7日(土) 10:00～12:30、13:30～16:00

会場：リファレンス西新宿大京ビル2階

研修テーマ：生成AIの活用の仕方など具体的な使用方法

講師：木村 亮太 氏 (元枚方市議会 議長)

### 概要

本講座では、予算審議における道具としての生成AIについて講義を受けた。何か大きなテーマがあってそれについての概念や内容を学ぶといった類の講義ではなく、予算案の精査や委員会質疑、議会質問等の議員活動においてAIをどのように活用できるのかを具体的に（操作も含めて）学ぶという講座であった。

#### <基本>

- ・生成AIの基本：そもそも生成AIは何かという定義から始まり、生成AIのできること、用語の整理、生成AIの基本（的確な回答が返ってくる、使いこなすためのポイント）、ChatGPTの構造・基本的な使い方について学んだ
- ・議会活動における生成AIの使い方：ブログ、広報での活用方法、画像生成の方法とポイント、画像生成に適した生成AI（Geminiを例に）、スライド作成方法などの具体的な作成方法についてのレクチャー
- ・議会質疑における生成AIの活用事例：リサーチ、分析、壁打ち、資料の要約、文章作成といった利用方法について具体的な政策（誰でも通園制度）を元に説明
- ・AI活用で予算審議に必要な情報を取得する方法：NotebookLMという、資料としてアップロードされたものを活用することに特化した生成AIを使うことで信頼性が高い（ファクトチェックができる）情報を取得できる。NotebookLMの使い方についてレクチャー

#### <応用>

- ・財政資料の見方/AIを活用した財政分析：財政分析のために使う財政状況資料集、決算カードについて現状把握のために財政指標を類似団体と比較する形でデータ作成する場合にAIをどう活用するか、数字の抽出だけでなく分析や戦略的示唆まで出す方法、ChatGPTやNotebookLMを使った財政分析の手順
- ・事業評価の見方/AIを活用した事業分析：行政評価の定義・利用状況・成果・立ち位置、事務事業実績測定（事務事業評価）の見方、事業分析をする場合の生成AIの使い方
- ・質疑のあとに必ずやるべきフォローアップ：質問したことを実現させるために、行政計画の更新スケジュールの例、所管事務調査の位置づけ・結果・生成AIの活用

## 所見

1. 自己流を脱したかった これまで生成 AI については、独学で試行錯誤しながら活用してきたが、本講座を通じて、断片的な知識が議員活動を支える体系的な手法へと整理することができた。AI は単なる文章作成補助ツールではなく、膨大な行政資料から論点を抽出するための高度な分析助手であると感じた。これまで時間をかけて自分で抽出してきたデータ、以前、全国の中核市でどのような事業評価を行っているか1箇所ずつ自治体のHPに飛びデータを収集したことがあるが、あれにかけた時間の何十分の一で瞬時にデータが出てくる（当然ながらハルシネーションと言われるもっともらしい嘘には気をつけなければならないが、NotebookLM を使えば選択した資料の中からでしか情報を収集しないので精度が上がる）。講師が強調されていた「プロンプト(指示文)の精度が質に直結」という点はその通りで何でも便利に簡単になるというのではなく、質を上げるために利用するものであるということに改めて認識した。
2. 根拠に基づく政策提言 生成 AI の課題であるハルシネーションを回避するため、NotebookLM を活用した手法はとても実用的だった。市が呈示する予算書や事務事業評価シートを直接 AI に読み込ませ、それを基本資料とできること、そしてそれに基づいた質疑・質問案を作成することで情報の正確性を担保しつつ多角的な視点から予算案を検証することが可能となった。これにより、これまで拭いきれなかった感性や目についたところ、慣例ではなく、具体的データに基づいた根拠ある質疑を行う基盤が整ったと感じている。
3. 財政分析・事業評価の高度化 決算カードや財政状況資料集を用いた類似団体との比較分析における AI 活用は、これまで要していた作業時間を大幅に短縮させる。しかし講座で学んだ通り重要なのは数字を出すことではなく、そこから導き出される戦略的示唆なので、AI によって捻出された時間を生の声を聞く活動やより深い政策立案に充てることが大事である。生成 AI は楽をする道具ではなく、より精緻で合理性のある分析・提案をするためのツールであることを強く感じた。
4. 質問の先にある実行力へのつなぎ込み 本研修の最大の収穫は質疑後のフォローアップに関する知見である。質問して終わりにするのではなく、行政計画への反映や所管事務調査への展開など AI を「行政を動かすためのサイクル」にどう組み込むかという視点を得られた。今後は、本講座で習得した技術を最大限に活用し今後の議員活動において市民の負託に応えるより建設的で鋭い提言を行っていきたい。

2026 **1.23** 金 | **2.6** 金

10:00 ▶ 12:30

**予算議会とは何か？  
基礎から学ぶ第一歩**

- ・予算案とは何か？
- ・予算議会の役割と流れを理解する
- ・何のために議会があるのか
- ・予算審議の前に準備すべきこと
- ・初心者がつまづかずに“数字だけ質問”を卒業する
- ・質疑のための着眼点
- ・議員活動全体と予算議会の関わり方

13:30 ▶ 16:00

**効果的な質疑のための準備と視点**

- ・質疑に必要な資料と情報（役所の資料は宝庫）
- ・総合計画や総合戦略を根拠に質疑を構成する
- ・実際に通用する質問骨子の立て方
- ・過去の実際の質疑事例から学ぶ

2026 **1.24** 土 | **2.7** 土

10:00 ▶ 12:30

**生成AIを活用した予算審議について  
基本編**

- ・生成AIの基本について
- ・議員活動における生成AIの使い方
- ・議会質疑における生成AIの活用事例
- ・AIを活用し、予算審議に必要な情報を取得する方法

13:30 ▶ 16:00

**生成AIを活用した予算審議について  
実践編**

- ・財政資料の見方
- ・AIを活用した財政分析
- ・事業評価の見方
- ・AIを活用した事業分析
- ・質疑の後に必ずやるべき“フォローアップ”

**予算質疑  
特別研修**

基礎から実践まで  
4コマ集中講座

決算書や予算書を見ても「何を聞けばいいのかわからない」から脱却。基礎から準備、実践、そして事務事業評価を活用した応用まで、4コマで体系的に学ぶ特別研修。新人議員から中堅議員まで、すぐに議会で活かせる実践力を身につけます。

講師

元枚方市議会議員長  
**木村 亮太**  
きむら りょうた



枚方市生まれ、大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ベンチャー企業）を経て、2011年より無所属で3期12年枚方市市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。

2015年度監査委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。

市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みがマニフェスト大賞最優秀賞、クラウドアイデア賞、優秀賞、躍進賞を受賞。

『はじめて取り組む自治体職員のための成果連動型委託契約(PFS)/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)実践ガイドブック』、日経クロム・カレッジ奇蹟実績あり。

全国市議会議長会での講演実績あり。

グローバル経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。

令和7年度

## 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 9

支出年月日	区 分		
令和8年 2月 2日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先		支払金額	
函館 蔦屋書店		2530円	
摘要（品名）	数量	単価	金額
「マルチレベルアプローチMLA」	1	2530	2530円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

## 【領収書等貼付欄】

領収書  
主体的市民の会 荒木明美 様

領収日 2026年02月02日  
領収書No. 0013876274  
(伝票 No. 0013876274)

¥2,530-

(内 (10%) 税抜 ¥2,300- 消費税 10% ¥230-)  
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)

注) \$は軽減税率 (8%) 適用商品 上記消費税 230円を含みます

但し、書籍代「マルチレベルアプローチMLA」代と口  
上記正に領収いたしました 扱者 07338  
函館 蔦屋書店 0138-47-2600  
北海道函館市石川町85番1号  
登録番号 T2120001077107

令和7年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 10

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
令和8年 2月 13日		令和8年 2月 13日		・ 調査研究費 ・ <u>研修費</u>
	氏 名	金 額	受領年月日	
1	荒木 明美	75,770円	8年2月13日	
2			年 月 日	
3			年 月 日	
4			年 月 日	
5			年 月 日	
支払金額合計		75,770円		
旅行の目的 インフラ老朽化セミナー（下水道-八潮市事故に学ぶ「見えないリスク」と緊急対策）、 「インフラ再生に向けた議会提言-先手を打つ自治体だけが生き残る」）受講のため				
用務地 東京都新宿区				
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）		
2/18	函館→東京都大田区	路線バス, 私鉄	660円	
2/19	東京都新宿区	J R		
2/20	東京都大田区→函館	航空賃	46,110円	
/		日 当	9,000円	
/		宿泊費	左下欄のとおり	
/		参加費	20,000円	
/		その他		
・ 親族宅に宿泊したため宿泊費支出無し ・ 路線バス、私鉄は京急線往復（羽田—品川）		合 計	75,770円	

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

各種代金お支払い 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日  
26743-0

2026年02月14日  
函館東雲

時間 13時26分

お支払い金額  
22,450円

株式会社AIRDO

お客様氏名

主体的市民の会 荒木 明美

下記予約を承っております。

全1名 全1旅程分の金額です。

出発日 便名  
02/18 AD060

区間  
函館 - 羽田

出発時刻  
1645

お支払い後の返金は当店ではお受けできません。お支払い内容、領収書に関しては下記へお問合せください。

収納代行会社

ウェルネット株式会社

お問い合わせ先:

AIRDO 予約・案内センター

電話:

011-707-1122

受付時間:

08:00-20:00

03-6741-1122(東京)

申込No.: 2674370454838799

この明細書は大切に保管してください。



Web 114673391af41801cb1d36d61299d5ee  
2026年04月08日 11:47発行

## 領収書

下記の金額正に領収いたしました。

主体的市民の会 荒木明美 様

金額 23,660円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312247464610
航空券/料金券発行日	2026年2月13日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

## ご利用旅程・運賃・料金明細

アラキアケミ 様

2026年2月20日 (金)

運賃：セイバー

○ 12:45 東京 (羽田)

クラス：普通席

23,660 円

○ 14:10 函館

便名：JAL587

\* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 23,660円

領収証

2026 年 2 月 19 日

主体的市民の会 荒木明美 様

★

¥20,000

但 2026/2/19(木)10時～足立講師【東京】下水道  
2026/2/19(木)13時半～足立講師【東京】インフラ再生に向けた議会提言

研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

地方議員研究会  
〒221-0042  
神奈川県横浜市神奈川区浦島町1-2-2  
TEL 050-1089-9835

表示：2026年4月8日

No.116924297

# 搭乗証明書

## CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗されたことを証明いたします。

### 記

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| 1. お客様氏名<br>Passenger's Name | アラキ アケミ 様  |
| 2. 搭乗日<br>Date               | 2026年2月18日 |
| 3. 航空会社<br>Carrier           | 株式会社AIRDO  |
| 4. 便名<br>Flight No.          | ADO060     |
| 5. 座席番号<br>Seat No           | 17B        |
| 6. 区間<br>Sector              | 函館→東京(羽田)  |
| 7. 出発時刻<br>Departure Time    | 16:45      |

This is to certify that passenger has been on board our flight as indicated above.

**AIR DO**



JAPAN AIRLINES

Web f0787a59da93b6b6cc66e8b3708f2656  
2026年4月8日 12:04

搭乗証明書

お名前 アラキ アケミ 様  
年月日 2026年2月20日 (金)  
便名 JAL 587  
区間 東京 (羽田) → 函館

上記のとおり、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。  
日本航空株式会社



JAPAN AIRLINES

ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

アラキ アケミ様 233

◆出発DEPARTURE ◆行先DESTINATION  
東京 ⇒ 函館  
TOKYO HANEDA HAKODATE

◆便名FLIGHT  
JAL 587

◆搭乗口 GATE ◆座席SEAT  
16 18E

◆搭乗日 DATE ◆運賃種別 FARE TYPE  
2/20 EPVTEEAB

◆出発時刻 DEP. TIME ◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time  
12:45 12:35

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 4

出発時刻10分前までに搭乗口へ  
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ  
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL

# 出張報告書

令和8年 2月 25日

主体的市民の会 荒木明美 様

出張者氏名 荒木 明美

下記のとおり出張したので報告します。

## 記

1 出張期間	令和8年 2月 18日 ~ 令和8年 2月 20日 (3日間)
2 用務地	⑨ 2月 19日 東京都新宿区 市・町
	⑩ 月 日 市・町
	⑪ 月 日 市・町
	⑫ 月 日 市・町
3 出張概要	<p>地方議員研究会主催研修会          日時：令和8年2月19日(木)          10:00~12:30 「下水道-八潮市事故に学ぶ          「見えないリスク」と緊急対策」          13:30~16:00 「インフラ再生に向けた議会提言-先手を打つ自治体だけが生き残る」</p> <p>場所：リファレンス西新宿大京ビル(新宿区西新宿7丁目21-3)</p>
4 所見	別紙。
備考	

## 下水道事業 八潮市事故に学ぶ見えないリスクと緊急対策 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和8年2月19日(木) 10:00~12:30

会場：リファレンス西新宿大京ビル2階

研修テーマ：自治体における下水道事業について

講師：足立 泰美 氏（甲南大学経済学部教授）

### 概要

本講座では、八潮市で起きた事故を例に、なぜあの陥没事故が起きたのか、全国に潜む沈黙のリスク、早期対応と議会の役割、修繕と更新（優先順位はどうつけるのか）、小規模自治体こそリスクが高い理由といった点について動画なども使いながら講義を受けた。

- ・八潮市の事故：2025年1月、埼玉県八潮市で直径10m、深さ10m以上の道路陥没事故が発生し、トラック運転手が転落・行方不明となった。事故の原因は老朽化した下水道管の破損とされており全国でも同様のリスクがあると専門家は指摘している。

- ・下水道の概要と料金体制、2つの会計制度：下水道の仕組み、下水道事業・汚水処理施設の概要（所管する省庁の違い）、下水道使用料の算定（独立採算の原則、雨水公費・汚水私費の原則）、下水道汚水処理普及率、下水道事業の経費回収率、公営企業会計の適用関係、収益的収支と資本的収支等について

- ・下水道事業の課題：どのタイミングであれば事故を止められたのか、事故が起きないことが望ましいが起きた時の説明責任、気候変動による浸水被害の現状について

- ・老朽化対策：全国の下水道管渠の総延長（約49万km）と耐用年数、下水道事業の建設投資財源、施設の耐震化状況、下水道事業に関する経営指標、経営戦略について

### 所見

下水道という「目に見えないインフラ」に潜むリスクの深刻さと、それに対する議会のチェック機能の重要性を再認識した。特に八潮市の陥没事故は、一自治体の不運ではなく、高度経済成長期以降に整備された管渠が耐用年数を一斉に迎える全国的なリスクの顕在化であると捉えなければならぬと感じた。人口減少により料金収入が減る中で、いかにして修繕と更新の優先順位を判断するかという経営的視点は印象に残った。漫然とした老朽化対策ではなく、公営企業会計の指標を読み解き、最悪の事態（事故）を防ぐための「攻めの予防保全」への転換が急務だと思う。本市の現状について、管渠の総延長、敷設年次、耐震化の進捗状況等を詳細に精査する必要がある。今後は、本市のアセットマネジメントが実効性のあるものか、緊急時の説明責任をどう果たすべきかについて、財政面と安全面の両輪から議論を深め市民の生命と生活を守るための提言を行いたい。

## インフラ再生に向けた議会提言-先手を打つ自治体だけが生き残る 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：令和8年2月19日(木) 13:30~16:00

会場：リファレンス西新宿大京ビル2階

研修テーマ：地方自治体インフラの予防保全

講師：足立 泰美 氏（甲南大学経済学部教授）

### 概要

本講座では、地方自治体におけるインフラ再整備をめぐる三重苦（老朽化×自然災害×財源不足）について、その背景（更新の山と財政の谷が同時に来る現実）と国の交付金制度や計画策定指針の限界、今後なすべきことについて講義を受けた。

- ・自然災害とインフラの点検：日本は水害に脆弱な国土。大規模な水害対策として堤防、水門強化等が重要。構造物の点検対象や点検手法では目視点検が基本。点検しにくい所もあり一人では完結しない（重機が必要な場所も）。劣化の過程についても学んだ。
- ・予防保全：不具合が生じてから対策する「事後保全」から不具合が出る前に対策する「予防保全」へ転換することで今後増加が見込まれる維持管理・更新費用の縮減を図ることができる。
- ・重要インフラの機能確保に向けた対策：災害時に命を守るための各種リスク情報の周知に取り組み、洪水想定地域のハザードマップ等の整備が進んだ。加えて外国人旅行者等への情報提供体制、情報収集ツールとしての全天候型ドローンや下水道施設のBCP強化も進んでいる。
- ・データに基づく政策立案：RESAS、RAIDA等を活用した、データに基づいた議会提言についての手法、企業・住民理解と合意形成についての具体例を学んだ。

### 所見

本研修を通して、インフラの三重苦という現実に強い危機感を抱いた。人口減少に伴う財政収縮が避けられない中、事後保全から予防保全への転換は、単なるコスト削減策ではなく、自治体の存続を懸けた戦略的投資だと感じた。特に、RESAS等の客観的データを活用し、住民や企業に対してインフラの健康診断結果を可視化することで、将来的な負担軽減への理解と合意を得るプロセスは不可欠な視点だと感じた。先手を打つ自治体だけが生き残るという言葉を重ね受け止め、函館市における主要なインフラ施設の老朽化度合とその推移を改めて精査する。その上で、現在の点検・修繕計画が真に「予防保全」の観点に基づいた実効性のあるものか、将来の更新費用の山をいかに平準化すべきか、予防保全に関する基本的な考え方と現状を改めて確認していく。

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえた国土交通省「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」委員が、特別講演

緊急  
開催

# インフラ老朽化 セミナー

「見えないインフラ問題、老朽化の課題解決のために、いま求められる議会の決断力」  
国や役所のせいではない。わからないでは済まない。住民の命を守るための政治家の課題



友の会 特別価格 1講座1,000円

2026 1.8 (木) 博多

2026 2.18 (水) 東京

10:00 地方インフラの崩壊リスクー人口減少時代のサバイバル戦略

- 12:30
- 人口減少と財政難がもたらす「負の連鎖」
  - 既存インフラの“寿命切れ”を見抜く視点
  - DX化だけでは解決できない「本当の課題」とは
  - インフラ更新は「見えない負債」
  - 維持管理コストをどう絞り出すか
  - 議会が機能しなければ地域は沈む

13:30 上水道ー見えない危機と料金見直しのリアル

- 16:00
- 老朽化の波と「料金の壁」
  - 小規模化・広域連携は本当に可能か？
  - “使える水道”をどう守るか
  - 民間委託・広域化の現場事例
  - 将来負担比率と水道事業の密接な関係
  - 住民負担をどう説明するか、議員の責任

2026 1.9 (金) 博多

2026 2.19 (木) 東京

10:00 下水道ー八潮市事故に学ぶ「見えないリスク」と緊急対策

- 12:30
- あの陥没事故はなぜ起きたのか？
  - 全国に潜む「沈黙のリスク」
  - 早期対応と議会の役割
  - 修繕と更新、優先順位をどう付けるか
  - 小規模自治体こそリスクが高い理由
  - 財政悪化とインフラ劣化は同時進行する

13:30 インフラ再生に向けた議会提言

16:00 ー先手を打つ自治体だけが生き残る

- 国任せにしない「現場発」提言とは
- 住民理解と合意形成のシナリオ
- あなたの一歩が、地域を救う
- 予防保全型予算に切り替える知恵
- 成功する自治体は「危機感共有」から始めた
- 誰が決断できるか、それが自治体の未来を決める



あだち よしみ  
足立 泰美

甲南大学経済学部 教授 博士(医学) 博士(国際公共政策)

2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了, 2014年大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学博士課程修了。  
「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」委員, 「今後神戸市の子育て施策に関する有識者会議」委員,  
「神戸市国民健康保険運営協議会専門部会」委員, 「天津市行政改革推進」委員, 「吹田市総合計画審議会」委員,  
「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」副会長, 「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会」副委員長,  
「吹田市国民健康保険運営協議会」公益代表委員, 「全国保険協会兵庫支部健康づくり推進協議会」委員など。

【著書】

『保健・医療・介護における財源と給付の経済学』(大阪大学出版社, 2015)  
『税と社会保障負担の経済分析』(日本経済評論社, 2015)

参考様式第1号

令和7年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 11

支出年月日	区 分		
令和8年 3月 4日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費 <u>資料購入費</u> ・事務費		
支払先		支払金額	
函館 蔦屋書店		5280円	
摘要（品名）	数量	単価	金額
「AIの世界へようこそ 未来を変えるあなたへ」	1	5280	5280円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領収書  
主体的市民の会 荒木明美様  
領収日 2026年03月04日  
領収書No. 0021281411  
(伝票 No. 0021281411 )

¥5,280-

(内 (10%) 税抜 ¥4,800- 消費税 10% ¥480-)  
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)  
上記消費税 480円を含みます  
注) §は軽減税率 (8%) 適用商品

但し、「AIの世界へようこそ 未来を変えるあなたへ」  
上記正に領収いたしました 扱者 99000104  
函館 蔦屋書店 0138-47-2600  
北海道函館市石川町85番1号  
登録番号 T2120001077107

参考様式第1号

令和7年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 12

支出年月日	区 分		
令和8年 3月 17日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先	支払金額		
DCM 石川店	2460円		
摘要（品名）	数量	単価	金額
コピー用紙代	1	2460	2460円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

